

柏市版

# V. 幼保こ小連携





# 1. 柏市の幼保こ小連携



幼稚園・保育園・こども園と小学校が連携をとることで、園と学校との「段差」が軽減し、円滑な接続につながります。

柏市では、市内9地区の当番園・当番校からの委員により、幼保こ小連絡協議会を行っています。また、委員が推進役となり、地区別に幼保こ小連携活動を行っています。各地区では、地区別連絡会を開催し、幼保こ小の相互参観や協議会、引継ぎ会等を行い、相互理解を図るような取り組みが行われています。さらに、連携年間計画を作成し、各園と各校との交流会や教職員の連携活動など具体的な取り組みも進めています。

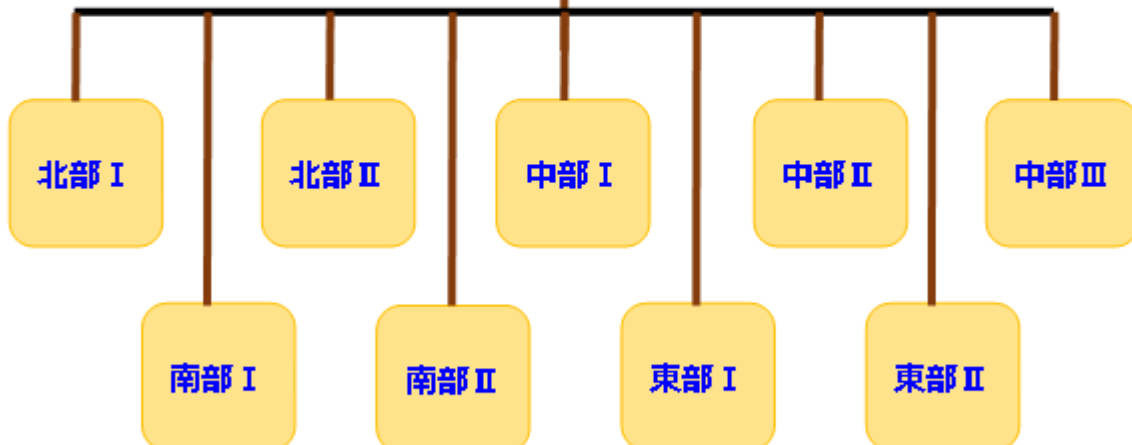
## 柏市幼保こ小当番校・園連絡協議会

- 各地区の当番校・当番園が委員となる
- 地区別連絡会の運営計画を立てる



## 幼保こ小地区別連絡会

- 当番校・当番園が地区ごとに主催
- 地区内の園と小学校が参加し、相互参観や協議会を行う



○地区別連絡会で立てた年間計画をもとに、小学校区の幼保こ小で連携活動を行う



## 2. 幼保こ小 連携活動例



各校・各園で行われている連携活動は、園児と児童が顔を合わせる交流会だけでなく、様々な形で行われるようになってきました。園や学校、地域の実態に応じた年間計画を作成し、継続的に行っていくことが大切です。

### 子ども同士の交流

#### 交流会 ☆園児と1年生☆

- 秋とあそぼう（参照 44ページ 「わくわく あきの なかよしかい」）
- 1年生体験（参照 46ページ 「ときどき がっこうたんけん」）
- 学校たんけん、学校案内
- 公園たんけん
- 休み時間交流…校庭で一緒に遊ぼう



#### 交流会 ☆園児と2～6年生☆

- 町たんけんて園訪問（2年生）
- キャリア教育で園訪問（高学年）
- 学校紹介、学校案内（就学時健診 等）
- 休み時間交流…校庭で一緒に遊ぼう



交流会のお礼に、小学校の持久走大会で応援する園児

### 場・機会の提供

#### 様々な形で連携していく

- 小学校行事への案内～参加  
（運動会、授業参観、夏休み作品展、音楽集会、学習発表会、持久走記録会 等）
- 校庭や体育館の提供（休み時間交流、園の散歩で立ち寄る、園の行事 等）
- 卒園生が園行事に参加

### 教職員の連携

#### 教職員が相互理解を深め、連携体制をつくる

- 地区別連絡会の参加
- 相互参観（当番校・当番園以外にも近隣校・近隣園で実施できると効果的）
- 学校だより・園だよりの配付
- スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの情報提供
- 入学説明会の資料提供
- 教職員の異校種体験
- 給食試食会、給食の資料提供
- 合同避難訓練、合同救命救急研修
- 年長の保護者会への小学校教職員の参加
- 教育研究所主催の幼児教育関係研修への小学校教員の参加
- 連携活動（授業・保育）の公開

# 3. 幼保こ小 交流会計画例

交流会計画① わくわく あきの なかよしかい

1. 時期 11月中旬～下旬
2. 対象 ・小学1年生 ・年長児
3. 幼保こ小連携における交流会の位置づけ

秋に行われる交流会は、1年生と年長児が一緒になって秋を感じ、楽しむことをねらいとしている。交流会を通して、年長児は小学生に憧れを持ったり親しみを持ったりするようになり、1年生は年長児に教えてあげたりお世話したりする喜びを感じ、お兄さんお姉さんに近づくことができる機会となる。

### 4. 活動のねらい

園のねらい	小学校のねらい（単元目標）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生とのふれあいを楽しむ。</li> <li>・1年生と一緒に秋の自然を感じ、教わりながら遊んで、身近な自然がおもちゃに変化することがわかる。</li> <li>・交流会で自分たちは何ができるか考えることができる。</li> <li>・自分の思いを言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児と関わることのよさや楽しさに気付く。 【知識及び技能の基礎】</li> <li>・秋の自然物を使って工夫して作品を作ったり遊んだりするとともに、年長児の立場になって楽しく交流できる方法を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】</li> <li>・年長児と進んで触れ合い、交流しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul>



### 5. 活動計画

時期	園での活動計画	小学校での指導計画
10月	■お散歩	■公園探検
	同じ公園へ行って一緒にどんぐり拾い	
11月上旬	■招待を受け、交流会で自分たちは何ができるか考える。	■交流会の計画を立てる。 ■年長児に招待状を送る。
	職員同士の打合せ	
11月中旬	交流会「わくわく あきの なかよしかい」	
	■1年生へのお礼 ■教わったものを自分たちで作る。 →下の学年を招待する。	■振り返り →3学期の交流会に生かす。
	職員同士の振り返り	

★前年度の振り返りを基に計画する。  
★幼児・児童の実態の共有  
★ねらいの共有  
★実態確認  
・ヘアやグループ編成  
・歌やレクの内容  
★職員の当日分担

★互いのねらいを達成できたか。（効果等）  
★互いから見た幼児・児童の気付きの共有  
★次回や次年度の計画に向けての見直し

6. 展開（本時 70分展開）

時間	幼稚園・保育園・こども園	主な活動の流れ	小学校
	■園児の活動 ○援助		■児童の活動 ◇支援
10分	<p>○ペアの1年生と安心して関わられるよう声をかける。</p> <p>■ペアの名前を覚える</p>	<p><b>1. 1年生の教室でペアごとに顔合わせ</b>（自己紹介も含む） ⇒一緒に体育館へ移動する。</p>	<p>◇年長児を温かく迎えるようにする。（号令の時の言葉などについて配慮する。）</p> <p>■事前にペアの名前を覚え、自分から年長児に声をかけ、自己紹介をする。</p>
20分	<p>○園の先生が前に出て、会の一部を進行したり、小学校の先生と仲良くする姿を見せたりすることで、年長児の緊張を和らげるようにする。</p> 	<p><b>2. はじめの会（全体）</b></p> <p>①ペアであいさつ</p> <p>②みんなで歌を歌う 例：まっかな秋 どんぐりころころ にじのむこうに</p> <p>③レク 例：猛獣狩りに行こうよ なべなべそこぬけ せっせっせ（手遊び）</p>	<p>◇会の進行を行う。 （園の先生と協力）</p> <p>◇①はモデルを示す。</p> <p>◇レクをするときの約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話をきちんと聞く。</li> <li>・安全に気を付ける。</li> <li>・レク中のグループは1年生と年長児が混ざる。</li> </ul>
30分	<p>■わからないことがあったら、自分で1年生に聞く。</p> <p>○一人一人が遊びを楽しんでいるか把握し、困り事があれば1年生に伝え、年長児には自分から聞くよう促す。</p>	<p><b>3. 秋の遊びを一緒に体験する</b> （ペア活動、屋台方式 等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のおもちゃで一緒に遊ぶ</li> <li>・一緒に作る 例：どんぐりごま まつぼっくりけん玉 ネックレス</li> <li>・年長児が作品をお土産に持ち帰る。</li> </ul>	<p>■手本を見せながら説明する。 （ICTの活用等）</p> <p>■作り方を教えて一緒に作る。</p> <p>◇一人一人が遊びを楽しんでいるか把握し、子ども同士で助け合えるよう1年生に促す。</p> 
10分	<p>○思いを声に出せるように、そばに寄り添う。</p> <p>■自分たちで考えたお礼を披露する。</p>	<p><b>4. 終わりの会（全体）</b></p> <p>①感想をインタビュー （ペア⇒全体）</p> <p>②年長児からのお礼</p> <p>③ペアであいさつ</p>	<p>■1年生がまず自分の感想を伝え、その後年長児にインタビューする。</p>

交流会計画②

ときどき がっこうたんけん

1. 時期 1月～2月
2. 対象 ・小学1年生 ・年長児
3. 幼保こ小連携における交流会の位置づけ

卒園・入学が近づいてくる1～2月の交流会は、年長児にとって、小学校へ入学することへの不安を減らし、期待を高めることをねらいとしている。また、小学1年生にとっては、新しい1年生のために自分たちができることを考え、新しい1年生を迎えようとする気持ちを持つとともに、自分たちが1年間で成長したことを実感する機会となる。

4. 活動のねらい

園のねらい	小学校のねらい（単元目標）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生とのふれあいを楽しむ。</li> <li>・小学校がどんなところかを知り、入学への期待を高める。</li> <li>・自分の思いを言葉で伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児を迎える準備や交流会を通して、自分の成長に気付く。 【知識及び技能の基礎】</li> <li>・年長児の立場になって考え、交流会の計画を立てたり、活動したりしている。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】</li> <li>・年長児と進んで触れ合い、交流しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】</li> </ul>

5. 活動計画

時期	園での活動計画	小学校での指導計画
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小学校のイメージを話し合う。（期待をふくらませる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1年間の学校生活を振り返り、新1年生のためにできることを話し合う。</li> <li>■交流会の計画を立てる。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■どんな活動をするか知る。</li> <li>■招待を受け、交流会で自分たちは何が出来るか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年長児に招待状を送る。（どんな活動をするかも知らせる。）</li> </ul>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">職員同士の打合せ</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">交流会「ときどき がっこうたんけん」</div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験したことから印象を振り返る。⇒ごっこ遊び等への発展へ</li> <li>■保護者へ報告</li> <li>■1年生へのお礼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■振り返り 成長した自分への気付き</li> </ul>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">職員同士の振り返り</div>		

★前回や前年度の振り返りを基に計画する。  
 ★幼児・児童の実態の共有  
 ★ねらいの共有  
 ★実態確認  
 ・ヘアやグループ編成  
 ・歌やレクの内容  
 ★職員の当日分担

★年長児が自分で報告  
 ★園だより・ドキュメンテーション等で報告  
 ⇒保護者の不安軽減へ！！

★互いのねらいを達成できたか。（効果等）  
 ★互いから見た幼児・児童の気付きの共有  
 ★次回や次年度の計画に向けての見直し

6. 展開（本時 70分展開）

時間	幼稚園・保育所・こども園	主な活動の流れ	小学校
	■園児の活動 ○援助		■児童の活動 ◇支援
5分	○ペアの1年生と安心して関わられるよう声をかける。	<b>1. ペアごとに顔合わせ</b> (初めてのペアなら自己紹介)	◇年長児を温かく迎えるようにする。(号令の時の言葉などについて配慮する。) ■前回(秋)と同じペアなら、前回の思い出話ができるとうい。
15分	○園の先生が前に出て、会の一部を進行したり、小学校の先生と仲良くする姿を見せたりすることで、年長児の緊張を和らげる。	<b>2. はじめの会(全体)</b> ①ペアであいさつ ②みんなで歌を歌う 例：1年生になったら ③レク 例：猛獣狩りに行こうよ ジャンケン列車	■◇会の進行を行う。 (1年生が行う場合でも、園や小学校の先生の出番も作り、年長児の緊張を和らげる。) ◇前回(秋)を思い出し、レクをするときの約束を振り返る。
30分	■いろいろな体験に興味を持って取り組む。 ■わからないことがあったら、自分で1年生に聞く。 ○年長児がどのように活動しているか把握し、積極的に参加することができるよう声をかける。	<b>3. 1年生体験</b> <教室でグループ活動の場合> ・机、いすに座る。 ・名前を呼ばれたら挙手する。(健康観察) ・ランドセルを背負う。(教科書の重さを感じる) ・算数ブロックを操作する。 ・教科書を見る。 <コーナー別で体験する場合> ・朝の会(健康観察) ・エア給食。給食当番の白衣を着る。 ・そうじ ・教科体験	■手本を見せながら説明し、体験の手伝いをする。 ◇安全にできているか確認する。 ◇教科書は事前に「上」を用意させておく。 ■コーナーごとに、体験を教える。 ■教科体験例(幼児全員ができ、安心できるものを選ぶ。) 国…教科書を音読してみる 算…ブロック操作、形遊び 生・図…簡単な工作 音…楽器
15分	■安全に歩けるようにする。	<b>4. 学校案内</b> 入学直後に関わる場所に絞って案内する。 保健室、図書室 等	■何をやる場所か年長児に教える。 ◇歩くペースやトイレに行くタイミングなどを考慮する。
5分	○思いを声に出せるように、そばに寄り添う。 ■自分たちで考えたお礼を披露する。	<b>5. おわりの会(全体)</b> ・感想をインタビュー ・年長児からのお礼 ・ペアであいさつ	■1年生がまず自分の感想を伝え、その後に年長児にインタビューする。